――― レポート第１回（再出題 ） 5/25 提出 ―――

レポート表紙は指定形式によること。さらに問題毎にページを変え、またページ番号を入れること。

[1] 「生産と貿易の成長率比較」および「１人当たりの工業生産レベル」（田中）の時系列データに対し、

i) それぞれグラフを作成しなさい。グラフには、図 1,2 などの番号、題名、横軸・縦軸の変数名、目盛を入れること。

ii) グラフに対する 300～400 字程度の所見・解釈をそれぞれ与えなさい。これらは、少なくとも関連する５個の数字を含むこととする。

iii) 原データも表示すること。表には１，２などの番号、題名を入れること。

なお、レポート作成に際しては、ii), iii), i)の順序とする。

＊）データは田中明彦『世界システム』東京大学出版会。コピーは、２号館 1013 号室前にて配布。

[2] (前回通り) ただし、「○○よりダウンロードした××データの、平均は・・・・、標準偏差は・・・、またヒスとグラムは・・・に示した通りである。なお、計算および図作成は・・・プログラムによった」との文章を入れること。

[３] http://www.qmss.jp/qmss/text/supplements/tokei.htm#1 の「79 分と 97 分 虚実の間」を読み、400～500 字で論拠を挙げて是非を述べなさい。まず両論をあげ、それぞれ自らの賛成の論、ならんで反対の論を述べること。

[４] 配布済み米国およびソ連の軍備データをエクセルで入力し

i) まず、データを示しなさい。

ii) 時系列として折れ線グラフで表示しなさい。各国は増えているか、増え方はどのような関係かなど、自らの想像で適当に直線を引き、それを比較することで、超大国の軍備の関連につき（表からわかることを引用しながら）所見を 150～200 字程度で述べなさい。グラフには、図 1,2 などの番号、題名、横軸・縦軸の変数名、目盛を入れること。

iii) 両国の軍備量を両軸にとって、散布図で表示しなさい。両国の軍備量の関係につき、自らの想像で適当に直線を引き、超大国の軍備の関連につき（表からわかることを引用しながら）所見を 150～200 字程度で述べなさい。グラフには、図 1,2 などの番号、題名、横軸・縦軸の変数名、目盛を入れること。

[５] 私鉄の経営について考えたい。http://www.qmss.jp/databank/ を参照しながら、「大手私鉄の経営規模に関する論点」という題名の所見エッセイを 300 字程度で書きなさい。タイトル、データ、散布図（タイトル、両軸名前）、重要と思われる数字（数件）を含めること。順位およびその関連、相関係数（知っていれば）、異常と思われる数字（会社）、自分が利用している私鉄等々に注目すること。